

# 令和6年度 経済活性化対策特別委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和6年8月5日（月）～7日（水）

## ◆調査先・調査内容

### ①新潟県庁（新潟県新潟市）

〈調査の内容〉

新潟県庁は、「新潟県観光立県推進行動計画」を策定し、戦略的に観光政策を実施している。

地域の風土・歴史・文化を料理に表現するローカル・ガストロノミーの理念を体現し地域社会との関わりに積極的な新潟県内の飲食店や宿泊施設、お酒やお土産品等を発掘し、表彰する「新潟ガストロノミーアワード」や、特別な空間で、新潟の食材と新潟のシェフによる特別なコース料理を振る舞う「新潟プレミアムダイニング」など、ガストロノミーを中心に据えた観光ブランドづくりに先進的に取り組んでいる。

今回は、計画の概要や過年度の実績、目標達成に向けた施策の取組状況及び新潟県観光協会（観光地域づくり法人（DMO））への委託状況等について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・ガストロノミーアワードの開催に至った経緯
- ・ガストロノミーアワード開催にあたって、民間事業者との連携について
- ・今年度のガストロノミー推進事業の具体的な内容について

### ②公益社団法人 新潟県観光協会（新潟県新潟市）

〈調査の内容〉

公益社団法人新潟県観光協会は、新潟県の地域連携DMOであり、食をキーワードとした取組を進めている。

今回は、地域資源を活用した「稼ぐ仕組み」づくりを始めとした観光施策の取組状況について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・人気のある観光地のみの一極集中を避ける取組について
- ・日本酒に対する外国人の感触について
- ・食に関する観光の取組について
- ・世界遺産に登録された佐渡周辺の観光動態について



### ③一般社団法人野沢温泉マウンテンリゾート観光局（長野県下高井野沢温泉村）

〈調査の内容〉

観光庁の「令和5年度地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業」に採択され、地域内の事業者及び料理人同士の連携により、地域の強みを活かした統一的なブランディング・商品開発を実施している。

今回は、上記事業で開発した「ガストロノミーツアー」と、ジビエや地元でとれた野菜などを使用したコース料理「循環のガストロノミー」等について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・長野県の観光協会との連携状況について
- ・飲食店における地産地消の取組について
- ・地元の卸業者など、地元の業者を活用した取組について



### ④株式会社 HOME HOME NIIGATA（新潟県十日町市）

〈調査の内容〉

トレッキングツアー等をとおして、棚田の耕作者の収入増加や地域内の雇用創出・里山の環境保全、地域コミュニティの維持と持続可能な観光の実現を目指して取組を行っており、観光庁「サステナブルな旅AWARD」特別賞を受賞している。

今回は、観光の力を農家収益の増大や地域コミュニティの維持へ生かす取組及び持続可能な観光の実現に向けた取組について話を伺い、現在建設中のゲストハウスの視察を行った。

〈主な質疑等〉

- ・芸術祭の経済波及効果について
- ・外国人のニーズと自治体が売り出したいコンテンツのギャップについて
- ・ゲストハウスの単価設定について

